

道徳学習指導案（略案）

学 年 小学校第4学年

主題名 相手のことを考えて 【B 礼儀】

ねらい 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする態度を養う。

教材名 おじいさんの「こんにちは」

学習指導過程

	学習活動 ○主な発問 ・児童の反応	○留意点 ☆評価
導入	1 「礼儀」とはどのようなものがあるかを考える。 ○ みなさんの身の回りにおける「礼儀」には、どのようなものがありますか。 ・あいさつ ・言葉遣い ・お礼	○ 身の回りにおける「礼儀」について考え、本時のねらいとする道徳的価値への意識付をする。
展開	2 教材「おじいさんの『こんにちは』」を読んで、話し合う。 ① 本時の学習課題を把握する。 ○ お話を聞いて、感じたことは何ですか。 ・おじいさんが、人によって「こんにちは」の言い方を変えている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">どうして、いろいろな「こんにちは」があるのだろう。</div> ② おじいさんが、どのような気持ちで挨拶をしているのか役割演技を行う。 〈お隣のおばあさんに会った時〉 ○ お隣のおばあさんは、どんなおばあさんですか。 ・年上 ・目とか耳とかが不自由 ○ お隣のおばあさんに、「こんにちは」を言ってみましょう。 【おじいさん役】どんな気持ちで言いましたか。 【おばあさん役】どんな気持ちがありましたか。 【周りの人】演技を見ていて、どのようなことを感じましたか。 〈乳母車を押したおばあさんに会った時〉 ○ おばあさんは、どんな気持ちで乳母車を押しているのでしょうか。 ・赤ちゃんを起こさないように静かに押している。 ○ 乳母車を押しているおばあさんに、「こんにちは」を言ってみましょう。 【おじいさん役】どんな気持ちで言いましたか。 【おばあさん役】どんな気持ちがありましたか。 【周りの人】演技を見ていて、どのようなことを感じましたか。 ③ おじいさんがいろいろな「こんにちは」をしている理由を考える。 ○ おじいさんはどのような思いを大切に、いろいろな挨拶をしているのでしょうか。	○ 本時の課題へつなげるために、感じたことを発表する。感じたことを踏まえ、本時の課題について提示する。 ○ おばあさんの様子を理解して、役割演技を行う。 ○ おじいさん役に児童、おばあさん役に教師がなり、即興的に役割演技を行う。 次に、おじいさん役とおばあさん役に児童同士がなり、双方の気持ちを取り上げることで、心の込もった礼儀を多面的に考えさせる。 ○ おばあさんの気持ちを理解して、役割演技を行う。 ○ おじいさん役とおばあさん役を隣同士ペアで役割演技を行う。また、役割を交代して演じることにより、礼儀について多面的・多角的に考えさせる。 ○ グループで話し合うことにより、考え方、感じ方

	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりや優しい気持ち。 ・相手がうれしい気持ちになったらいいなという思い。 ・自分の思いを相手にしっかり伝えるためにも、相手のことを考える。 ・相手の気持ち，立場や様子を考える。 <p>④ 家に帰ったのぶおがどんな挨拶をするか考える。</p> <p>○ 家に帰ったのぶお君は，おばあさんに対してどのように「ただいま」と言ったかやってみましょう。</p> <p>○ のぶおはどのような思いで，小さな声で「ただいま」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんの作業の邪魔にならないようにしよう。 ・大きな声で言ったら驚かせてしまうかな。 <p>3 自分を見つめる。</p> <p>○ このおじいさんのように，相手の事を考えて礼儀正しい行動をとったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お礼を言う時に，必ず相手の目を見て心を込めて伝え合うことがあった。 	<p>を互いに交流する。</p> <p>○ これまでの学習を踏まえ，挨拶に関わる体験的な活動を即興的に行う。</p> <p>○ 相手のことを考えた真心の込められた挨拶を行ったことに気付かせる。</p> <p>○ ノートにねらいとする道徳的価値について考えたこと，感じたことを書き，蓄積していく。</p> <p>☆ 本時のねらいとする道徳的価値に対して，自分との関わりで考えている。 (心のノート)</p> <p>☆ 友達の考えを聞いて自らの考える広げることができた。(自己評価)</p>
終末	4 教師の説話を聞く。	